

令和2年度 第2回上川中部定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録

○日時：令和3年3月18日（木）午後2時から午後3時30分まで

○場所：旭川市職員会館2階 第2・3号室

○出席者

- ・委員8名 片山兵衛委員，堀川陽子委員，沖全委員，工藤良伸委員，渡辺多賀志委員，佐々木英樹委員，大矢二郎委員
- ・オブザーバー10名 鷹栖町総務企画課 山原参事，東神楽町まちづくり推進課 佐藤課長補佐，当麻町まちづくり推進課企画商工係 横山係長，比布町総務企画課まちづくり推進室地域政策係 齋藤係長，愛別町総務企画課 高田参事，上川町企画総務課企画グループ 井上主任，東川町企画総務課総務室 柳澤主事，美瑛町まちづくり推進課政策調整係 安藤係長，上川総合振興局地域創生部地域政策課 細谷課長，関戸主事
- ・事務局(旭川市)5名 総合政策部 坂本次長，政策調整課 石崎補佐，清原主査，狩野主査，大島

○会議資料

- ・次第
- ・資料1 出席者名簿
- ・資料2 上川中部定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱
- ・資料3 上川中部定住自立圏共生ビジョン懇談会の会議運営
- ・資料4 第1回懇談会以降の経過と第2回懇談会の内容
- ・資料5 第3期上川中部定住自立圏共生ビジョン（案）
- ・資料6 令和3年度上川中部定住自立圏連携事業
- ・資料7 第3期上川中部定住自立圏共生ビジョン 成果指標一覧
- ・資料8 第3期上川中部定住自立圏共生ビジョン(案)に対して寄せられた意見について
- ・資料9 連携中枢都市圏構想について

○会議内容

1 開会

2 委員紹介（資料1）

各委員，各町からの出席者の紹介

3 懇談会

(1) 座長，副座長選出（資料2）

ア 座長の選出

第1回に引き続き，大矢委員を座長に選出した。

イ 副座長の選出

事務局から，副座長に佐々木委員を選任し，了承された。

(2) 会議の運営について（資料3）

事務局から説明。提案のとおり了承された。

(3) 第1回懇談会以降の経過と第2回懇談会の内容について（資料4）

事務局から説明

(4) 議事

ア 第3期上川中部定住自立圏共生ビジョン（案）について（資料5～7）

○事務局から説明

- ・第1回懇談会で素案を説明していることから，素案からの主な変更箇所を中心に説明する。
- ・1ページ，「1 定住自立圏及び市町の名称」の表「人口総数及び昼夜間人口比率」について，素案では，各町の人口総数が昼間人口の数値となっていたため，修正した。また，昼夜間人口比率についての注釈を加えた。

- ・ 8ページ、「自然動態+社会動態の推移」の表について、素案では社会動態の数値となっていたため、修正した。
- ・ 12ページ、「製造品出荷額等の推移」の表について、平成30年の工業統計調査の結果が公表されたことから、新たに平成30年の数値を追加した。
- ・ 14ページ、素案では「農家人口の推移」のほか、「農業産出額の推移」の表もあったが、平成17年以前とそれ以降の数値が単純に比較できないことから、更新をしていなかったため、表を削除した。
- ・ 15ページから21ページまでの「都市機能の集積状況」について、適宜修正を加えた。
- ・ 23、24ページの各市町が連携する取組は、協定の変更に伴う修正を加えた。詳細については、資料6「令和3年度上川中部定住自立圏連携事業」に基づき以下の説明をした。
- ・ 「3 子育て支援体制の充実」「5 無料法律相談事業」は、これまで7町と連携を行っていたが、令和4年度からは美瑛町が加わる。
- ・ 「8 高校・専門学校・大学における自治体連携」は、これまで6町と連携を行っていたが、令和4年度からは美瑛町が加わる。
- ・ 「12 就業マッチング促進事業」は、令和4年度から新たに加わる取組で、8町全てとの間で連携を行う。内容は、ビジョン（案）の36ページのとおり。
- ・ 「13 eスポーツ拠点の整備による先端技術人材の育成と地域経済の活性化」も、令和4年度から新たに加わる取組で、8町全てとの間で連携を行う。内容は、ビジョン（案）の37ページのとおり。
- ・ 「14 地域の強みを生かした産業振興」も、令和4年度から新たに加わる取組で、7町との間で連携を行う。内容は、ビジョン（案）の38ページのとおり。
- ・ 「22 公共施設の相互利用の促進」は、これまで5町と連携を行っていたが、令和4年度から美瑛町が加わる。
- ・ 「27 地域公共交通確保維持改善事業」は、これまで6町と連携を行っていたが、令和4年度から上川町が加わる。
- ・ 以上の変更を加え、令和3年度の取組数は32事業となる。
- ・ ビジョン（案）25ページ以降の「定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組」について、令和3年度の事業費の数値と主な取組を追加した。
- ・ また、成果指標についても、前回のビジョン懇談会や各町からの意見も踏まえ、指標を変更したり、1つの取組に複数の指標を設定するなど、内容を見直した。詳細は資料7「第3期上川中部定住自立圏共生ビジョン成果指標一覧」に基づいて説明を行った。
- ・ 大まかに分類すると、基準値を維持することにより、圏域の生活機能の維持に繋がるものについては、「基準値の維持」としている。新規指標と第2期の目標を達成していないものについては、基準値プラス5%、第2期の目標を達成したものについては、基準値プラス10%を目標としている。その他個別に考え方を設定しているものもあるが、こういった指標を設定することにより、連携する取組がより効果的なものとなるよう、取り組んでいく。

○委員から

（座長）第1回の懇談会における意見は全体的に反映されているのではないかと。

とくに成果指標に関しては、意見が反映されていると思う。

（座長）基準値が令和元年度、目標値が令和7年度になっているのはなぜか。

→（事務局）基準値は現在把握できる直近の数値ということで、令和元年度の数値を使用している。また、目標値は計画の最終年度である令和7年度としている。

（委員）ICTパークというのは、実際どこかに施設ができたのか。

→（事務局）本年2月に旭川市中心部にオープンした。そこの大型ビジョンで観光情報などを流すことにより観光客への情報発信などを行う。

イ 第3期上川中部定住自立圏共生ビジョン（案）に対する意見提出手続の結果について（資料8）

○事務局から説明

- ・ビジョン（案）について、令和3年1月25日から2月26日までの間で意見提出手続を実施し、個人の方から14件の意見が寄せられた。
- ・ビジョン（案）に反映した意見は特になかったが、各町と共有する。

○委員から

特になし

(5) 今後の新たな広域連携に向けた意見交換について（資料9）

○事務局からの説明

- ・旭川市と各町において、「連携中枢都市圏構想」への移行に向けた作業を進めており、令和4年度に移行できればと考えている。
- （制度の概要について、資料に基づき説明）

○委員から

（委員）制度としてメリットしかないように見えるが、デメリットはないのか。

→（事務局）デメリットは特にないと考えている。移行に向けた事務負担はある。

（委員）移行に向けた考え方を事務局では持っているか。

→（事務局）定住自立圏形成協定の締結から10年が経過しており、現在の取組内容について、このままでいいのか各町とも協議を行っていきたい。

→（委員）移行に当たっては、連携自治体や住民への説明・情報提供などもしっかり行ってほしい。

4 閉会

以 上